

いよいよ今年4月から教科としての「道徳」の授業がはじまります



学びがいがあり、楽しい「道徳の授業」を どうつくるか一緒に考えませんか



文科省編集の『私たちの道徳』では、「はたらくこと」について低学年から扱います。1・2年生用では、「はたらくことのよさをかんじて」、3・4年生用では、「はたらくことの大切さを知って」というタイトルがついていて、それぞれの農業・工業・商業・サービス業などに従事する人たちの写真が掲載されています。これをどう切り口で子どもたちに提示していくか難しい所です。3・4年生でこの学習に取り組んだユニークな実践を濱野先生が報告します。みんなと一緒に考えませんか。

【道徳の授業では、ジレンマを使って考えさせる手法がとられることが多いのですが、前回の報告はトリレンマの手法を使った授業実践でした】(参加者の感想)
今まで二つの対立でやってきた授業が多かったのですが、3つの対立で行うというところになるほどと思いました。実践してみたいです。子どもたちが自分に置き換えて考えられる資料をやはり提示してあげたいと思います。評価の点で、「1つの項目に偏ってはいけない」という事を聞いて、それではありきたりのことしか記述できないなと思いました。色々なしぼりが出てくる中で、子ども達と一緒に考えていける授業をどう作っていくか難しいところだなと思います。(E.A)

日時: 2月16日(金) 18:00~20:30

場所: 新所沢公民館 学習室6号

内容: 教室からの報告

濱野秀樹さん(所沢市立小学校教諭)

もう一人小学校若手教諭の報告を予定

参加費: 300円(資料代・会場費・コーヒー・ケーキ付)

主催 : 子どもたちと共に楽しい道徳の授業をつくる会

共催 : さいたま教育文化研究所 教育課程と授業づくり研究委員会

連絡先 : tanosiidoutoku@jcom.zaq.ne.jp

